

令和4年度 第15回 病院経営戦略会議報告

日時 令和4年11月1日（火） 13時00分～13時45分
場所 3階講堂会議室1・2
出席者 堀之内院長 小山副院長 増田副院長 安西看護部長
堀越病院経営部長 高橋病院総務課長 三上病院施設管理課長
富田病院財務課長 増田医事課長 福田情報管理室室長補佐
日向患者支援センター副所長
事務局 坂口病院総務課課長補佐

内 容

◎高橋病院総務課長

【報告事項】

(ワクチン接種について)

- ・インフルエンザワクチンの接種についてであるが、本日より病棟で接種を開始している。
- ・オミクロン株対応の新型コロナウイルスワクチンの接種希望について、現在調査を行っているので対応をお願いします。

◎三上病院施設管理課長

【報告事項】

(旧周産期棟改修工事に伴う病院本棟の停電について)

- ・12月3日に旧周産期棟改修工事に伴い、9時から12時まで病院本棟の一般配線が停電となる。停電時は非常配線で電気を供給することとなる。今回は、新病院に移転後初めての停電となることから、各部署に詳細について説明を行う予定である。
 - エレベータの一部は動くということによいか。(堀之内院長)
 - 一部のエレベータは利用可能である。(病院施設管理課長)

◎増田医事課長

【報告事項】

(施設基準届出について)

- ・看護職員の負担の軽減及び処遇の改善を図るための看護業務の補助に係る十分な体制についての加算である看護補助体制充実加算について基準を満たしたため届出を行い、令和4年11月1日より算定可能となった。試算では、年間約422万円の増収を見込んでいる。
- ・貯血式自己血輸血を実施した際の加算である貯血式自己血輸血管理体制加算について基準を満たしたため届出を行い、令和4年11月1日より算定可能となった。試算では、年間約6万円の増収を見込んでいる。

◎堀之内院長

- ・(仮称)スポーツクリニックについて、前回の会議において武田科長より説明があったが、外来患者数の見込み及び収入見込みについて現状の診療状況を鑑みると外来患者の見込み数については達成可能と見込まれることが分かった。また、収入見込みについても、手術適応の患者は現在もあり、手術枠の拡大が出来れば達成可能とのことであった。収入見込みの中で課題となるのは骨粗鬆症患者に関する部分であり、どの程度診療を行なえるかが鍵になるとのことであった。

◎安西看護部長

- ・新型コロナが落ち着いてきたこともあり11月1日より周産期母子医療センターの縮小していた病床数を元に戻した。また、手術室も6+1+1列の運用としている。そのため、新型コロナ床対応のためリリーフに出ていた看護師を元に戻している。しかし、また県内の新型コロナ患者数が増加し、現在当院も新型コロナ病床が満床となっている。そのため、8B病棟の夜間看護配置を3、ICU病床の看護配置を3の6名とする予定であったが、現在の状況踏まえ検討している。